

保全活動日記 vol.13

2017年9月3日(日)



● 保全活動実施報告

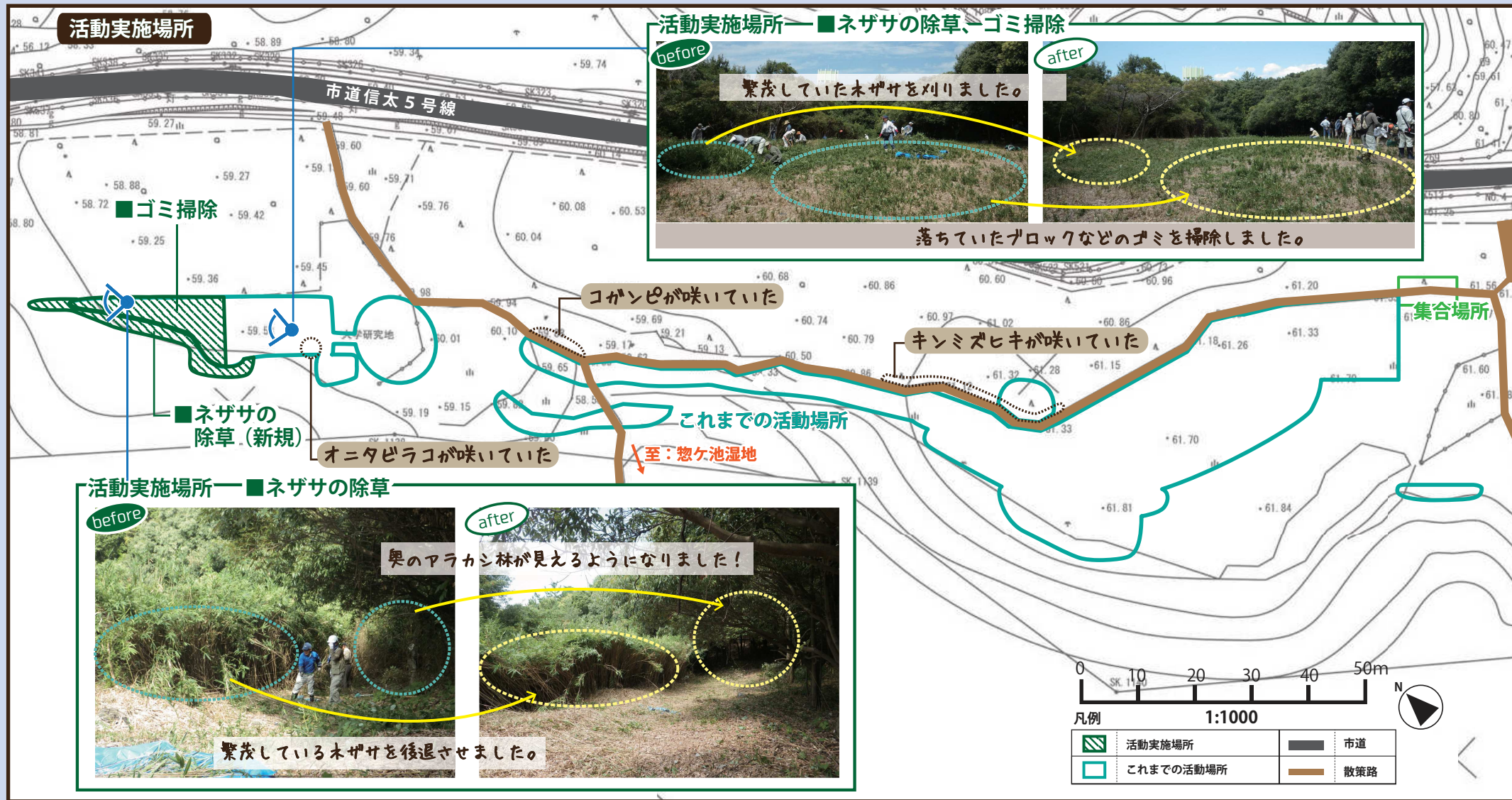
● 参加人数：33名

● 活動内容：南西側草原エリアで、二次草原を回復するための除草を行いました。今回は、除草中に出てきたブロックや石等のゴミを掃除する作業も行いました。

● 実施日：2017年9月3日(日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：くもり



④ 今回の大発見！



コガンピ

同属のガンピの皮は、古くから和紙の原材料として使われてきました。コガンピは繊維質が弱いことから和紙の原材料には適していません。



キンミズヒキ

キンミズヒキの実には、フック状の刺があるため、衣服に付くひっつき虫としてよく知られています。



オニタビラコ

オニタビラコは、春頃から10月頃まで花を咲かせます。葉は食べることができ、苦味があるため、天ぷらなどの高温処理で苦味をとばすといいそうです。

④ ゴミ掃除を行いました！

草刈りを行っている時、ブロックや大きな石がゴロゴロと出てきました。このようなゴミが刈払機の刃に当たるととても危険です。重いゴミをみんなで持ち上げ、端に寄せる作業を行いました。土管のようなものから遂には掃除機まで、たくさんのゴミを除去することができました。



足元に気をつけてー。

重たいなー！！

＼ゴミがどっさり！／



④ 活動後のふりかえり

活動の感想や今後の意見が挙がりました。



＼葉から飛び出す刺！／



ムラクモカレハのサナギに気をつけよう！

今の時期のムラクモカレハは、幼虫からサナギに変化する時期です。葉っぱで体をくるむのですが、体から出る刺が、葉の外側まで突き出ている状態になっています。作業する時に、葉にムラクモカレハのサナギがないか確認して作業するよう気をつけましょう。